

愛媛県内の声掛け・つきまとい等の発生状況(令和7年統計)

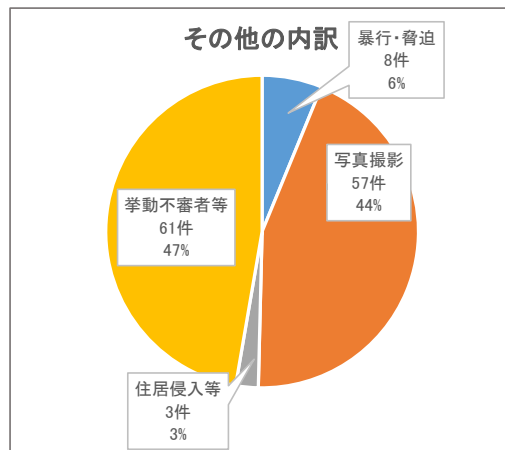
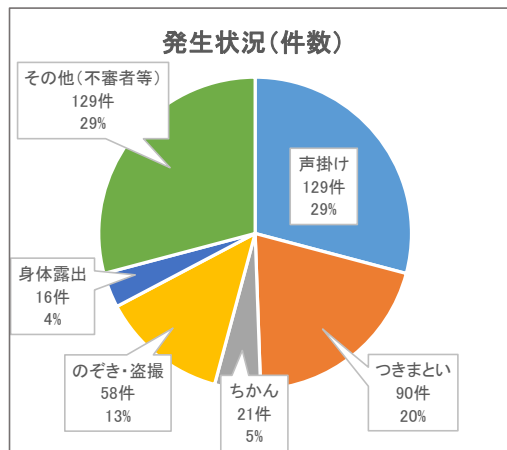
1 発生状況

令和7年中に県警が認知した声掛け・つきまとい等の発生件数は、443件(うち子供対象が293件)である。事案別では、「声掛け」、「つきまとい」、「その他(不審者等)」が多い。

- 「声掛け」「その他(不審者等)」が最も多く、129件(29%)、次いで「つきまとい」が90件(20%)の順で多くなっている。
- 令和6年中と比べ、不審者情報の認知件数が38件減少している。

※ 「子供」は高校生及び18歳未満の男女、「女性」は18歳以上の女をいう。
 ※ 声掛け・つきまとい等とは、「声掛け、つきまとい、ちかん、のぞき・盗撮、身体露出、その他(不審者等)」をいう。
 ※ 「その他(不審者等)」には、暴行・脅迫、容姿撮影、住居侵入等、挙動不審者等が含まれる。
 ※ %表示は小数点以下第1位で四捨五入、もしくは切り捨て。(以下、同じ)

事案別	合計
声掛け	129
つきまとい	90
ちかん	21
のぞき・盗撮	58
身体露出	16
その他(不審者等)	129
計	443

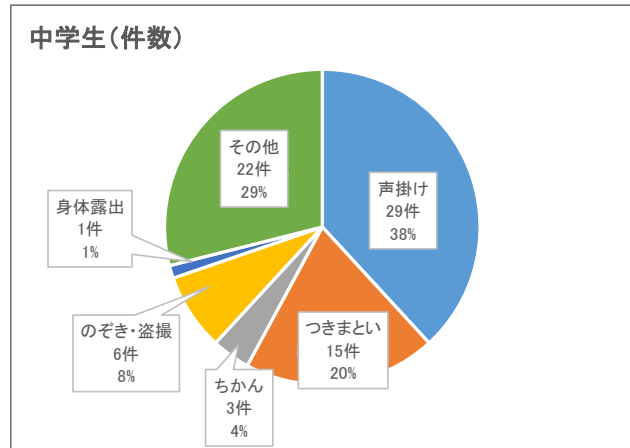
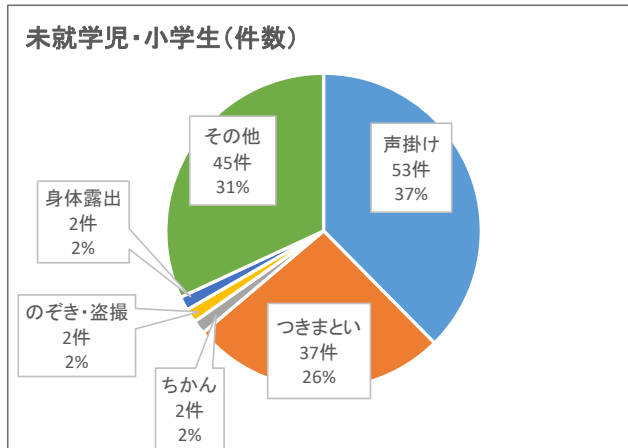
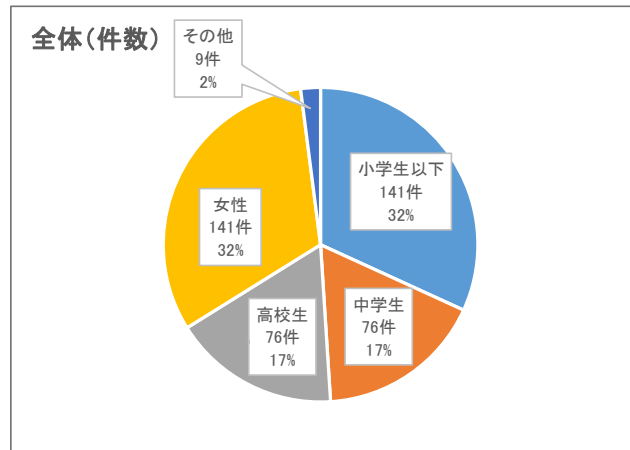
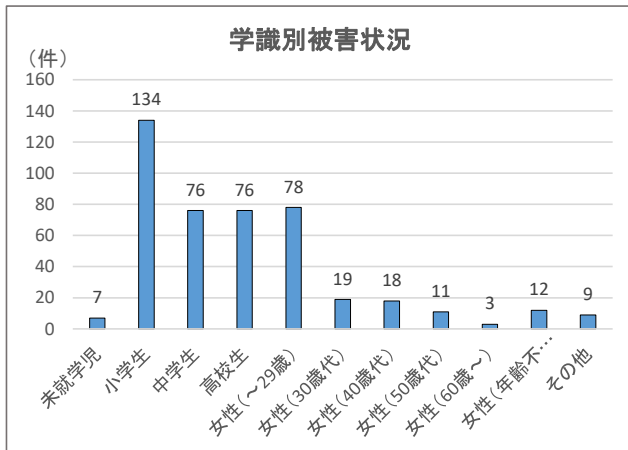


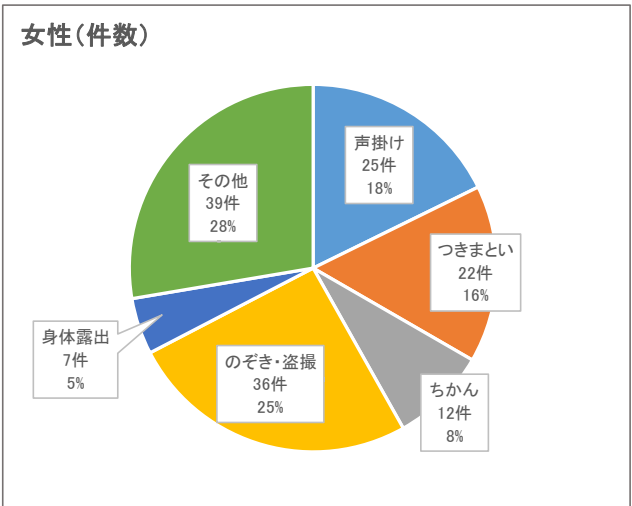
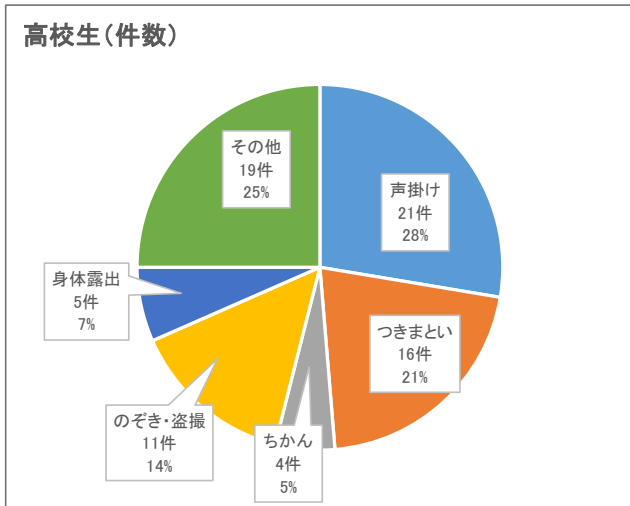
その他の内訳	合計
暴行・脅迫	8
写真撮影	57
住居侵入等	3
挙動不審者等	61
計	129

2 被害状況(学識別)

被害状況を学識別にみると、

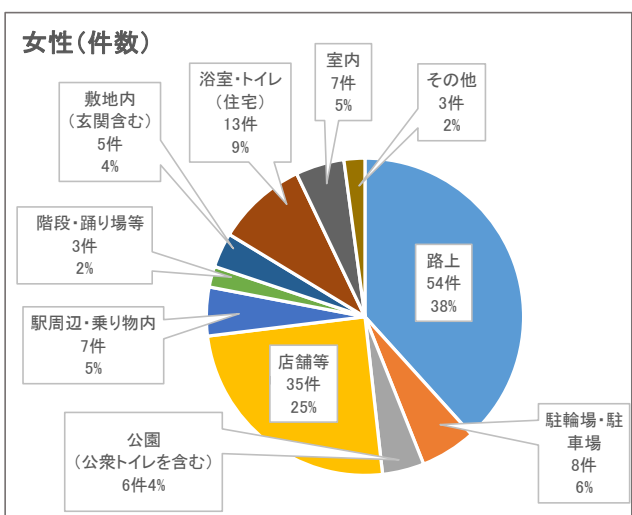
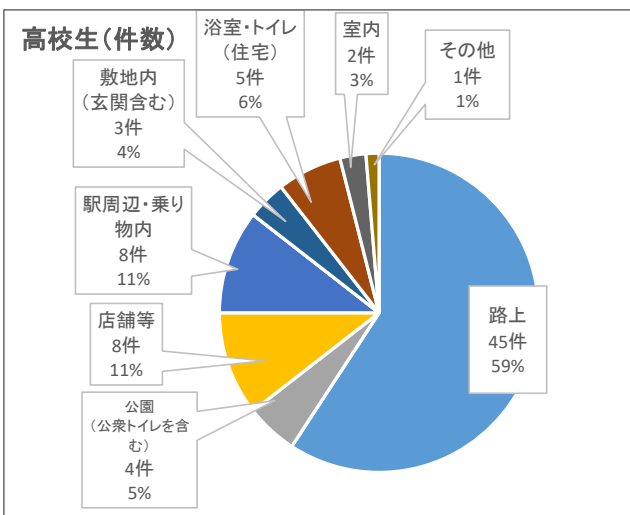
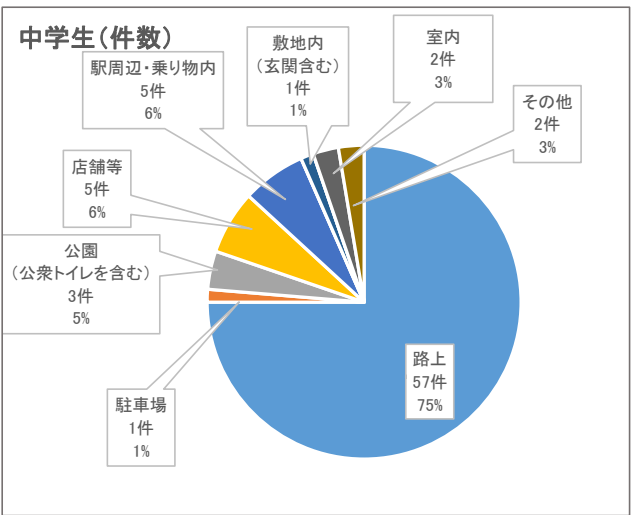
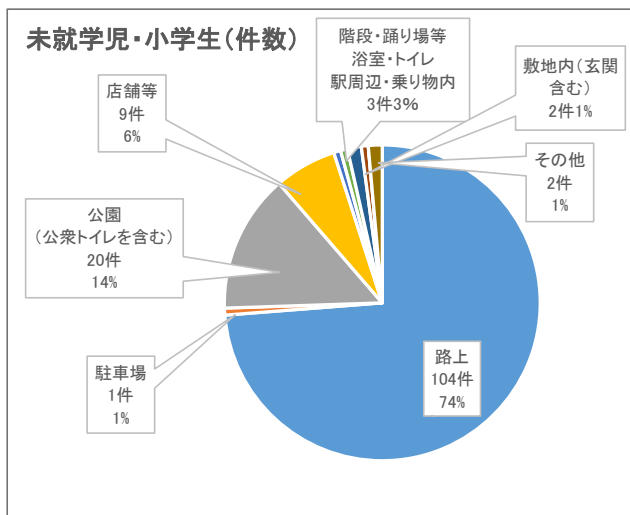
- 子供が293件(全体の66%)を占めている。
- 「声掛け」と「つきまとい」による被害が小学生以下の63.0%、中学生の58%を占めている。
- 高校生～中学生以下と比較して「ちかん」、「のぞき・盗撮」「身体露出」の被害に遭う割合が多い。
- 女性～子供に比べて「のぞき・盗撮」「身体露出」に遭う割合が多い。





3 発生場所(学識別)

- 小学生以下～「路上」での発生が104件(74%)と最も多く、次いで、「公園」が20件(14%)と多くなっている。
- 中学生～「路上」での発生が57件(75%)と最も多く、次いで「店舗等」「駅周辺・乗り物内」がそれぞれ5件(6%)と多くなっている。
- 高校生～「路上」での発生が45件(59%)と最も多く、小学生以下と比べて「店舗等」「駅周辺・乗り物内」での割合が多くなっている。
- 女性～「路上」での発生が54件(38%)と最も多く、子供と比べて「店舗等」での発生割合が多くなっている。



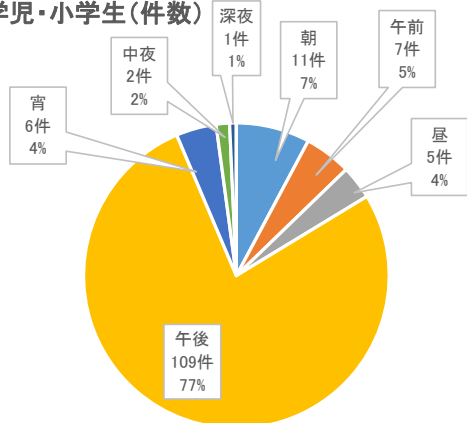
4 発生時間帯(学識別)

発生時間は、被害者の活動時間に伴い、

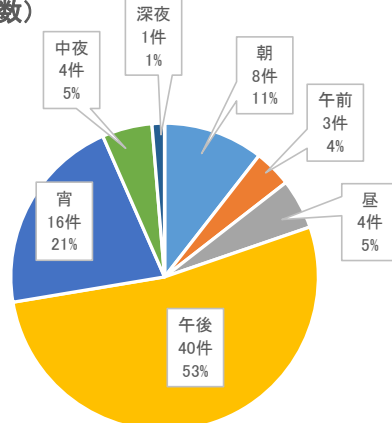
- 小学生以下～圧倒的に「午後」の被害が多く、109件(77%)となっている。
- 中学生～小学生と同様に「午後」の時間帯が多いが、小学生と比べて「宵」の被害も多くなっている。
- 高校生～中学生以下と比べて夜間(「宵」～「中夜」)の時間帯の被害が多くなっている。
- 女性～比較的「午後」から「中夜」までが多くなっているが、高校生以下と比べて「深夜」の時間帯の被害も多くなっている。

※時間帯区分: 朝(日の出～9時)、午前(9～11時)、昼(11～13時)、午後(13時～日没1時間前)、宵(日没前後1時間)、中夜(日没1時間後～23時)、深夜(23～3時)、未明(3時～日の出)

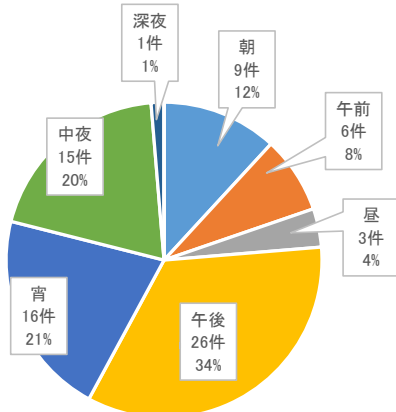
未就学児・小学生(件数)



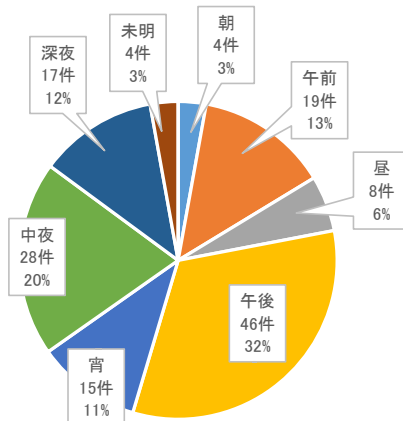
中学生(件数)



高校生(件数)



女性(件数)

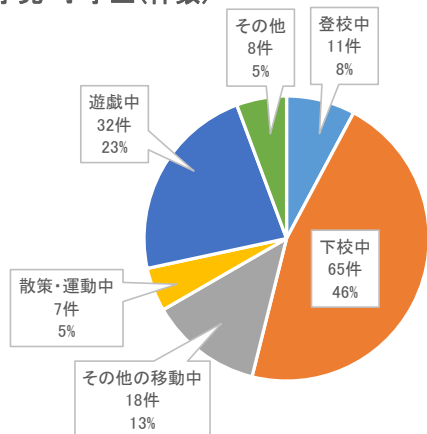


5 発生時の被害者の行動(学識別)

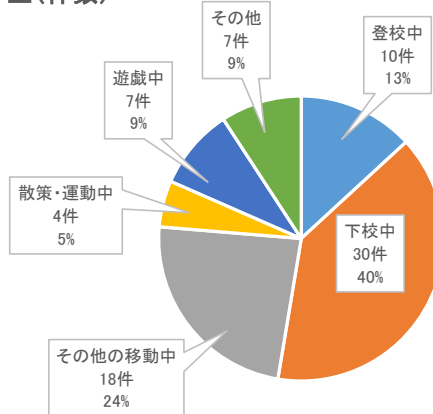
- 小学生以下～「下校中」の被害が最も多いが、次いで、公園等での「遊戯中」の被害が多くなっている。
- 中学生～「登下校中」と「その他の移動中」を合わせると約8割の被害が多くなっている。
- 高校生～中学生と同じように、「登下校中」及び「その他の移動中」の被害が48件(63%)と多くなっている。
- 女性～出勤中・退勤中の被害割合が高校生以下に比べて低く、「その他の移動中」「その他(在宅中、買い物中等)」の被害が多くなっている。

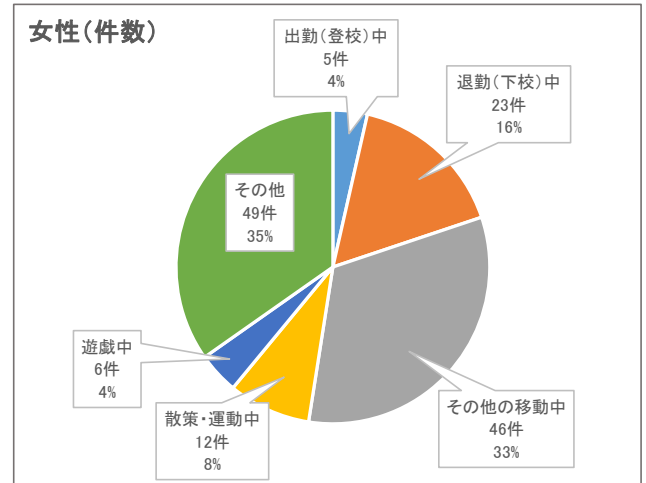
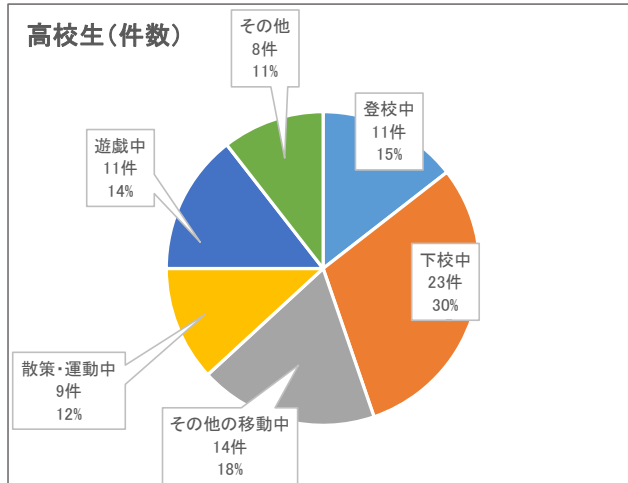
※「その他の移動中」は、「登校(出勤)中」「下校(退勤)中」「散策・運動中」以外の外での移動中をいう。
「その他」は、上記以外の在宅中や店舗内での買物中等をいう。

未就学児・小学生(件数)



中学生(件数)





6 月別・子供女性別発生状況

- 令和7年中、6月が最も被害が多く、比較的、4月から7月にかけて被害が多くなっている。
- 例年、夏休み期間中(7月～8月)は子供の被害が減少する傾向にあり、令和7年も例年と同様に被害が減少している。
- 女性被害の件数は例年、春季、秋季が多くなる傾向にあるが、令和7年は4月が最も多くなっている。

